



SHIBETSU ROTARY CLUB DISTRICT 2500 JAPAN

士別ロータリークラブ会報

Vol.021

No.2913

創立 1960・3・24

RI 第 2500 地区

2025-2026 年度 国際ロータリー・テーマ
会長 フランチェスコ・アレツォ
「よいことのために手を取り合おう」

UNITE FOR GOOD

2025-2026 年度 RI2500 地区・スローガン
「Rotary のことを熱く語ろう！
～ Rotarian Benefits を紡ぎ、そして育むために～」

- RI HP <https://www.rotary.org/ja>
- 2500 地区 HP <https://2025-2026.rid2500.jp/>
- 士別 RC HP <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>
- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10～13:10

2025-2026 年度
士別ロータリー・スローガン

「精力善用～
それぞれの持てる力を共に奉仕へ」



- 会長／但木 行久
- 副会長／井口 裕史
- 幹事／山下 卓巳
- 事務所／士別グランドホテル（東3条6丁目）
TEL 0165-23-1234

第 3007 回例会 2026 年 2 月 16 日（月）

今日のプログラム：夜間例会

● 前回（2月9日）の記録／例会・結婚祝い

司 会 片庭隆暁 会場監督
 斉 唱 我らの生業・四つのテスト
 本日の出席 会員 44 人中 出席者 31 名 出席率 70.45% 修正 75.00%
 本日の欠席 榎本實男、大橋直幸、北村浩史、工藤雅史、國森和磨、穴戸 淳、田中道也、
 奈良康弘、南條忠勝、深尾幸夫、山口哲雄、大江智宣、千葉洋介、山下卓巳

ニコニコ BOX

累計 216,000 円

● 例会予定

◆ 2月例会（平和構築と紛争予防月間）

- 2月 2日（月） 例会・理事会
- 2月 9日（月） 例会
- 2月 16日（月） 夜間例会
- 2月 23日（月） 休会（法定休日：天皇誕生日）

◆ 3月例会（水と衛生月間）

- 3月 2日（月） 例会・理事会
- 3月 9日（月） 特別休会
- 3月 16日（月） 例会
- 3月 23日（月） 早朝例会
- 3月 30日（月） 夜間例会

■会務報告・・・但木行久 会長

皆さんこんにちは。

今月は、平和構築月間となっております。今月、イスラエルとガザ地区における紛争に関する、国際ロータリーの声明が発表されましたので、ご報告致します。

国際ロータリーは、イスラエルとガザ地区の、パレスチナ人との長い紛争の歴史における長引く苦難を認識し、すべて当事者に対し、平和への道を模索することを強く求めます。

それと同時に私たちは、ハマスによるイスラエル市民への恐ろしい攻撃を明白に非難し、負傷した人、殺害された人、誘拐された人の数に愕然としています。

イスラエルとハマスの紛争が激しくなる中、私たちはさらなる激化の可能性、および人命の喪失や、ガザ地区において既に起きている、人道的危機を深く懸念しています。

世界に目を向けると、国家間の対立や宗教・民族・価値観の相違から生ずる摩擦など、平和を脅かす要因は後を絶ちません。人類は有史以来、一度として紛争のない完全な平和な世界を築いたことはなく、まさにその紛争解決に追われてきていると思います。ロータリーが掲げる平和構築は、決して大規模な外交や、特別な行動を指すものではなく、相手を思いやる心、対話を通じて理解を深めようとする行動など、「人としての当然の正義」を一つひとつ積み重ねることによって、紛争を未然に防ぎ、世界の平和へと繋がっていくものだと思います。

また、私たちの日常生活においても対話の不足や相互理解の欠如により、様々な悲惨な事件や事故が後を絶ちません。我々ロータリアンは、その基本理念である奉仕の理想をより一層推進し、まずは各クラブの例会や事業において、平和をテーマに大いに語る機会を設けていただきたいと、発表しています。

さて、昨日、投開票が行われた第51回衆議院選挙の結果ですが、報道によりますと、自民党が単独で316議席を獲得し、定数465のうち「3分の2」を超える大きな勝利となり、与党が、絶対安定多数を確保しました。

全国的な悪天候の中、投票率は前回の衆議院選挙より2%ほど上がったとの事で、国民の関心の深さがうかがえる選挙となりました。

この結果を受け、政権運営においては、大きな議席を得たことで、政策決定のスピー

ドや、一貫性が高まることが期待され、国民生活に直結する課題に対し、迅速で丁寧な対応が求められ事になるとおもいます。

特に、内政・外交の諸課題への対応、物価高対策、税制の見直しなどが今後の焦点となり、高市総理の安定した、長期政権の先には、自由民主党の党是である「現行憲法の自主的改正」も視野に入ってくると思われます。

先般の報道で士別市の人口が、16,000人を割りこんだとのショッキングな報道がありました。想定以上のスピードで人口減少が進んでいる事に驚いたところですが、私たちの暮らしは「地域の現場」から始まります。

士別市のような地方都市にとって、人口減少対策、地域経済の活性化、交通インフラの維持、地域医療の確保、農業政策などは、地域の活力に直結する喫緊の大きな課題です。

今回の選挙結果は、国の政策運営に大きな影響を与える節目となりましたが、士別市が抱える課題は、全国の地方都市が共有する課題でもあります。

国の政策が、地域の魅力づくりを後押し、地域の実情に寄り添った、地方創生政策が、高市政権のもと、前へ、進むことを、期待したいと思っております。

以上、会務報告といたします。

■委員会報告・・・

国際奉仕委員会 大江智宣 委員長

今年も書き損じの葉書と使用済切手の回収をおこないます。箱を例会入口に置いておきますので、ご協力をお願い致します。

■結婚祝い&バレンタイン&ホワイトデー

財団米山奨学委員会 近藤峯世 委員長



富田克彦、谷温恵、鈴木春樹、山本政史 各会員